

JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会新潟県大会 実施要項 (261003 版)

大会の実施は、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症などの拡大状況によって、
また参加チーム数によって、

内容等が変更となる可能性があります

大会要項は、全体の要項、予選ラウンドの要項、決勝ラウンドの要項に分かれています
代表者会議において確定後の実施要項が正式な要項となります

1. 名 称 JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会 新潟県大会
2. 主 催 一般社団法人新潟県サッカー協会
3. 主 管 上越サッカー協会、一般社団法人新潟県サッカー協会フットサル委員会
4. 協 賛 (株) モルテン (予定)
5. 協 力 新潟県フットサル連盟
6. 日 程 <開催予定会場> ※五十音順

かきざきドーム (上越市柿崎総合運動公園)

三条市体育文化会館

長岡市市民体育館

長岡市みしま体育館

<開催予定日>

予選ラウンド：2026 年 11 月 22 日 (日) 三条市体育文化会館

11 月 29 日 (日) かきざきドーム、長岡市市民体育館

12 月 6 日 (日) 長岡市みしま体育館

決勝ラウンド：2026 年 12 月 13 日 (日) かきざきドーム、長岡市みしま体育館

準決勝、決勝：2026 年 12 月 27 日 (日) 長岡市みしま体育館

7. 参加資格

(1) 公益財団法人日本サッカー協会 (以下「JFA」とする) に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。JFA に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブチーム内の他の加盟登録チームに所属する選手を移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル 2 種」のみとし、「フットサル 1 種」年代の選手は適用対象外となる。(ここでの「加盟登録」は JFA への登録を意味しフットサル連盟への加盟ではない)

(2) 第 1 項のチームに所属する 2011 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

(3) 第 1 項に定めるチームには 20 歳以上の代表者がおり、チームに関わる全ての責任を負うこと。

(4) 第 1 項に定めるチームには 1 チームあたり 3 名までの外国籍選手ならびに新潟県外在住選手の登録を認める。

(5) JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会都道府県大会、地域大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。

(6) 選手は、JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会全国大会において複数のチームで参加できない

(7) 県大会優勝チームは北信越大会に出場し、更に北信越大会優勝の場合には全国大会への出場の権利と義務を有する。従って、参加チームはこれらの大会に参加が可能であること。

(8) 第1項のチームにはJFA公認フットサル審判員が1名以上おり、この審判員が帯同審判員として大会中の割り当てられた試合の審判ができること。

(9) 予選ラウンドからの参加となるチームは、予選ラウンドの割り当てられた日程に参加できることが参加の条件となる。

(10) 決勝ラウンド進出チーム（予選からの進出チームおよび予選免除チーム）は、決勝ラウンドの全ての日程で参加できること。

(11) 本大会に参加出来るチームは、〆切期日までに参加申し込みを行い大会実行委員会より参加を承認されたチームとする。また、参加が承認されたチームが大会参加を辞退することはできない。

8. 参加チームとその数

予選ラウンド 参加チーム数の上限は設定しないが、著しく大会運営が困難と判断された場合には、制限を設け抽選により参加チームを決定する。抽選となった場合、新潟県フットサル連盟加盟チーム、準加盟チームが優先的に大会に参加できるものとする。

決勝ラウンド 予選免除チーム（前回優勝チーム、北信越フットサルリーグ参加チーム）、ならびに予選ラウンド上位チームの合計12チーム。

9. 大会形式

(1) 予選ラウンド

原則としてリーグ戦形式とする。グループ分けについては参加チーム数により決定する。

(2) 決勝ラウンド

準々決勝リーグ:12チームを3チームずつ4グループに分けてリーグ戦を行う。各グループ1位が準決勝へ進出する。準決勝勝者が決勝に進出する。なお、参加チーム数により形式が変更となる場合もある。

(3) リーグ戦における順位決定方法

グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引き分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- 1) 当該チーム内の対戦成績
- 2) 当該チーム内の得失点差
- 3) 当該チーム内の総得点数
- 4) グループ内での総得失点差
- 5) グループ内での総得点数
- 6) 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場 1回3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント

7) 抽選

10. 競技規則

特に定められた項目以外は大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

11. 競技会規定

(1) ピッチ 原則として40m×20mとするが、使用する体育館に合わせた大きさとする。

(2) ボール 試合球: フットサル4号ボール

(3) 競技者の数 ピッチ上の競技者の数：5名 交代要員の数：9名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍ならびに新潟県外在住選手：2名以内

(4) チーム役員の数 4名以内（選手・役員エントリーの際に役員として記載された6名から）

(5) 競技者の用具

1) ユニフォーム：

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。（シャツ、ショーツ、ストッキングのそれぞれに関して、フィールドプレーヤーの正副、ゴールキーパーの正副全てが別の色であること）

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。ユニフォームに臨時に背番号を貼り付けて使用する場合（貼り番）、ユニフォームと同じ色の布地に背番号と同じ色で番号を示したものを、試合中にはがれたり、縫い目の間に指が入って危険であったりということがないように縫い付けたもののみ使用を認める、

(カ) ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。JFAのHPにある、ユニフォーム規定を参照のこと。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(キ) ユニフォームの下に着用するアンダーシャツはユニフォームのシャツの袖の主たる色と同色のもの、スパッツおよびタイツはユニフォームのパンツの主たる色と同色のもののみ着用を認める。

アンダーシャツ、スパッツおよびタイツはそれぞれチーム内で色合いを統一すること。

(ク) その他のユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

2) 靴：キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。但し、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。（スパイクシューズは使用できない）

3) ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(6) 試合時間

1) 予選ラウンド 15分ハーフプレーイングタイム（ハーフタイム5分）

2) 決勝ラウンド 準々決勝リーグ：15分ハーフプレーイングタイム（ハーフタイム5分）

準決勝・決勝：20分ハーフプレーイングタイム（ハーフタイム7分）

(7) 試合終了時に同点であった場合に、試合の勝者を決定する方法

1) 予選ラウンド リーグによるグループ：引き分け

2) 決勝ラウンド 準々決勝リーグ：引き分け

準決勝：ペナルティキック（PK）方式により勝敗を決定する。

PK 方式に入る前のインターバルは1分間とする。

決勝：10分間（前後半各5分間）の延長戦を行い、決しない場合はペナルティ

キック方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、

PK 方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(8) 没収試合

参加資格に違反するなど、不正行為のあった場合は、当該チームの出場を停止し、没収試合とする。

この場合リーグ戦においては当該チームの勝ち点は－3点とし、相手チームには3点を与える。得点・失点についてはラウンド毎に定める。トーナメント戦においては相手チームの不戦勝とする。当該チームの処分については大会実行委員会にて決定する。^{注1)}

12. 懲罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。ただし、予選ラウンドでの警告累積は決勝ラウンドへは持ち越さない。ただし、予選ラウンド最終戦で警告を受けたことによる出場停止については、予選ラウンド終了時点で失効する。

(3) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(4) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会実行委員会が決定する。決定の最終的な責任は（一社）新潟県サッカー協会フットサル委員会が負うものとする。

13. 参加申込

(1) 参加申込は、期日までに全チームが済ませること。

(2) 選手・役員エントリーまでに選手の JFA 加盟登録を完了させていること。

(3) 選手・役員エントリーは予選ラウンド、決勝ラウンドそれぞれで行うものとし、それぞれの〆切期日までに所定の手続き（参加料納付を含む）を完了させること。なお、予算ラウンドから決勝ラウンドに進出した際に、選手・役員エントリー内容に変更がない場合には、変更がないことを大会事務局に連絡することにより、決勝ラウンド参加申込手続きに代えることができる（別途、決勝ラウンド参加料納付は必要）。

(4) 予算ラウンドのエントリー選手の JFA 登録は選手・役員エントリーまでに完了し、エントリー用紙に登録番号を記載して送付すること。決勝ラウンドのエントリー選手の JFA 登録は、決勝ラウンド選手・役員エントリー時点で完了していること。

(5) 1チームあたり選手20名、役員6名を上限とする。ただし、決勝ラウンドに進出した場合、選手は3名を上限に選手変更（追加）し、本大会に申込をすることができる。その場合、第7条に定める参加資格を満たし、かつ本大会において他のチームで出場していないことを条件とする。役員については、変更の上限は設けない。

(6) 参加希望チームは、所定の参加申込用紙、選手・役員エントリー用紙に必要事項を入力の上、下記大会事務局宛に、E-Mail でデータ送信または郵送すること（できるだけメールを利用すること）。

また、事務連絡のため、チームは連絡用の PC で利用出来るメールアドレスを準備し、参加申込書に記載すること。

送付先：〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学教育学部内 森 恭 気付
全日本フットサル選手権新潟県大会 大会事務局 宛

E-Mail：yamori.ed@niigata-u.ac.jp（できるだけメールで連絡・お問い合わせください）

FAX：025-262-7082 TEL：025-262-7082、090-3093-4710（緊急時のみ）

(7) 参加申込〆切日：2026年10月21日（木）必着（事務処理上、早め早めが助かります）

(8) 選手・役員エントリー〆切日

予選ラウンド 2026年11月6日（金）必着（11月3日の会議で確定した内容を含めるため）

決勝ラウンド 2026年12月10日（木）必着

(9) 前項の選手・役員エントリー〆切日以降の申込内容の変更は認めない。

(10) 参加申込〆切日までに参加申込みのないチームの参加は認めない。

14. 電子選手証

各チームの登録選手は、JFA発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの、一覧表も可）を、試合会場に持参すること。

予選ラウンド出場チームは予選ラウンドの最初の試合前に当日の大会本部に提出すること。

予選ラウンド免除チーム、並びに決勝ラウンドに向けてエントリーの変更のあったチームについては、決勝ラウンド初日に持参、当日の大会本部に提出すること。

JFA選手登録が確認できない場合は、試合に出場できない。

15. 組み合わせ

(1) 予選ラウンドの組み合わせは代表者会議にて抽選で決定する。

(2) 決勝ラウンドの組み合わせは実行委員会ですみずを決定し、代表者会議にて抽選で決定する。

16. 参加料

(1) 予選ラウンド 1チーム15,000円（予選ラウンド参加チーム）

振込手続き完了締切日：2026年11月6日（金）

※代表者会議で最終的な大会参加の可否が決定した後となります

(2) 決勝ラウンド 1チーム20,000円（決勝ラウンド参加チーム）

振込締切日：2026年12月10日（木）※予選ラウンド最終試合日の4日後となります

(3) 各ラウンドの参加チームは下記振込先にチーム名で振り込み、手数料はチーム負担とする

振込先：第四北越銀行 西川支店 普通 1178468 新潟県サッカー協会フットサル委員会 委員長 森 恭

17. 表彰

(1) 優勝、準優勝、3位チームには賞状を授与し、優勝チームは大会優勝カップを1年間保持し、翌年の決勝日に会場へ持参するものとする。

(2) 優勝チームには県代表として、2027年1月23、24日（土、日）に福井市体育館（福井県）で予定されている北信越大会への出場資格を与える。北信越大会優勝チームは全日本大会に出場する。

18. 代表者会議

(1) 開催日時 2026年11月3日（日）9:30～（11:30頃には終了予定）（受付9:10～9:25）

(2) 会場 ハイブ長岡（長岡市産業交流会館）2F 会議室A・B

〒940-2108 長岡市千秋3丁目315-11 <https://www.hive.or.jp/>

（施設付帯の駐車場をご利用ください）

原則として、チームの代表者もしくはそれに代わる役員が出席すること。出席が困難な場合には、その他のチーム関係者が出席すること。やむを得ない事情によりチーム関係者が全く出席できない場合には、出席できない理由とともに委任状の提出をもって欠席を認める。会議の出欠にかかわらず、会議の決定には全チーム／選手が必ず従うものとする。無連絡欠席の場合には、大会への参加を認めない。

19. 傷害補償 チームの責任において傷害保険に加入すること。

20. 負傷対応 競技中の疾病、傷病等の処置は応急処置を含めてチームで対応すること。

21. その他

(1) 新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症対策については、現時点では特に定めず、それぞれが日常で行っている感染症対策を行うものとする。今後の感染の状況によっては、別途対策を講じることもあるものとする。

また、選手・スタッフの全員が大会前から健康管理に留意すること。大会の前もしくは当日の体調が思わしくない選手・スタッフ、当日の体温が37.5℃以上の選手・スタッフは会場内に入場できない。マスクの着用についての判断は個人に委ねる。

(2) ピッチ内での飲水は水のみとし、蓋のできる容器を使用することとし、またできるだけ、個人の容器を専用で使用する。

(3) 前後半のピッチ及びベンチの移動、ベンチでのビブス着用と抗体の際の手渡しなどは、コロナ以前のやり方に戻り、ベンチ移動の際のベンチのアルコールでの拭き取り義務づけもないものとする。

(4) 各会場における注意事項、禁止事項を遵守すること。

(5) 大会当日、会場に到着したら大会本部で受付を済ませること(選手証の提出、大会パンフレットおよびメンバー票の受け取り、会場使用上の諸注意伝達、等)。

(6) メンバー票は試合毎に実施するマッチミーティングの際に大会本部へ必要枚数提出する。

マッチミーティングは前の試合のKICK OFF直後とし、使用するユニフォームの持参もしくは写真提示すること。この際、当該試合を担当する審判員も集合し、打ち合わせを行う。なお、第一試合のマッチミーティングについては試合開始60分前を原則とするが、開場時刻の関係で60分前に実施出来ない場合には別途実施時刻を決めて両チームに連絡する。また、試合順序の関係等で審判員がミーティングに出席できない場合は、大会本部がその任を負うものとする

(7) 割り当てられた試合の審判、オフィシャル(タイムキーパー、記録員)、およびボールパーソンを必ず担当すること。

(8) 公認審判員のいないチームは(一社)新潟県サッカー協会が開催する審判講習会を受講し、割り当てられた試合の審判ができるように準備すること。今年度の講習会実施の詳細は(一社)新潟県サッカー協会公式サイトの審判講習会ページ <http://www.niigata-fa.or.jp/referee/> を参照のこと。

◇注意事項

注1. 感染拡大防止のための棄権となった場合には、勝ち点等の扱いは11-(8)に準ずるものとしますが、処分については別途検討します。

JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会新潟県大会 予選ラウンド 実施要項（素案）

1. 日 程・会 場

2026 年 11 月 22 日（日）三条市体育文化会館

11 月 29 日（日）かきざきドーム、長岡市市民体育館

12 月 6 日（日）長岡市みしま体育館

チームはいずれか一つのラウンドに参加できる

2. 参加チームとその数

(1) 参加チーム数の上限は設定しないが、著しく大会運営が困難と判断された場合には、制限を設けて抽選により参加チームを決定する。

(2) 参加を希望するチームは予選リーグの一つに参加できる。参加申込書に希望する日程について順位をつけて申し込むこと。大会運営のために参加チーム数に制限が設けられた場合、希望通りの会場での参加ができなくなった際に希望順位のつけられていない会場での参加は不可とする。また、いったん参加が認められた後には、大会の途中棄権はできない。

3. 大会形式

(1) 原則としてリーグ戦形式とし、グループ分けについては参加チーム数により代表者会議で決定する。

(2) リーグ戦における順位決定方法は、全体の要項に従う。

4. 競技規則

(1) 特に定められた項目以外は大会実施年度の「フットサル競技規則」による。（全体要項に従う）

5. 競技会規定

(1) 予選リーグの試合時間は前後半各 15 分間(プレーイングタイム)とし、ハーフタイム(前半終了から後半開始までの時間)は 5 分間とする（タイムアウトあり）。

(2) チームの事情で没収試合になった場合、リーグ戦においては当該チームの勝ち点は-3 で対戦相手チームの勝ち点は 3 とする。得点失点は 3-0 とし、没収時点で得失点差が 3 点差以上のスコアの場合にはそのスコアを採用する。（感染症関連の処分については全体要項に従う）

(3) ユニフォーム規程については全体の要項に従うものとする。

6. 組み合わせ

(1) 代表者会議にて抽選で決定する。

(2) 予選ラウンドから決勝ラウンドへの進出チームは 6 チームとする。

詳細については、大会形式によるものとして、代表者会議にて決定する。

7. その他

(1) 予選ラウンド試合ではチームの帯同審判員（公認フットサル審判員）がレフェリーを担当し、割り当てられた試合のオフィシャル(タイムキーパー、記録員)、およびボールパーソンを担当すること。

(2) 試合はマルチボールシステムによって行う。

(3) その他の事項については、（一社）新潟県サッカー協会フットサル委員会にて決定する。

JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会新潟県大会 決勝ラウンド 実施要項 (素案)

1. 日 程・会 場

準々決勝リーグ：2026 年 12 月 13 日（日）かきざきドーム、長岡市みしま体育館

準決勝、決勝：2026 年 12 月 27 日（日）長岡市みしま体育館

2. 参加チームとその数 12 チーム

予選免除チーム＝前回優勝チーム、北信越フットサルリーグ参加チーム

第 1 シード：前回優勝チーム＝長岡ビルボード FC

代表者会議時の北信越フットサルリーグ順位により、北信越リーグ参加チームを第 2 シードから順に割り当てるものとする。今年度は第 6 シードまでとする。

北信越リーグ参加チーム 1 部：レジスタ長岡、長岡ロッカ

2 部：プロミネンス新潟アットホームラボ、Primasale 上越、新潟レガソン

予選上位チーム 6 チーム

3. 大会形式

(1) 準々決勝リーグ：12 チームを 3 チームずつ 4 グループに分けてリーグ戦を行い、各グループの 1 位チームが準決勝へ進出する。リーグ戦における順位決定方法は、全体の要項に従う。

(2) 準決勝の組み合わせは第 1 シード vs 第 4・5 シード、第 2 シード vs 第 3・6 シードとし、前者を準決勝第 1 試合とし、決勝は準決勝勝者の間で行われる

4. 競技規則

(1) 特に定められた項目以外は大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

5. 競技会規定

(1) 準々決勝リーグの試合時間は前後半各 15 分間(プレーイングタイム)、ハーフタイム(前半終了から後半開始までの時間)は 5 分間とする。

(2) 準決勝・決勝の試合時間は前後半各 20 分間(プレーイングタイム)、ハーフタイムは 7 分間とする。

(3) タイムアウトあり

(4) 競技時間内で勝敗が決しない場合は以下の通りとする。

準々決勝リーグ：引き分け

準決勝：ペナルティキック (PK) 方式により勝敗を決定。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間。

決勝：10 分間（前後半各 5 分間）の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

(5) チームの事情で没収試合になった場合、リーグ戦においては当該チームの勝ち点は-3 で対戦相手チームの勝ち点は 3 とする。得点失点は 3-0 とし、没収時点で得失点差が 3 点差以上のスコアの場合にはそのスコアを採用する。トーナメント戦においては、対戦相手チームの不戦勝とする。

6. 追加登録、登録変更

予選ラウンドから参加するチームについては、決勝ラウンドに向けて 3 名を限度に選手の追加もしくは変更ができる。変更がある場合には、決勝ラウンドに向けて選手を再度エントリーする。変更がない場合には、変更がないことを大会事務局に申告（メールで）することで、決勝ラウンドのエントリー提出を省略できる。決勝ラウンドから参加するチームについては、決勝ラウンドに向けて選手エントリーを行う。

(1) 決勝ラウンドに際しての選手エントリーにおいては、エントリー提出時点でJFAの追加登録手続きを完了させていることとし、大会事務局宛にE-Mailでデータ送信すること。

(2) 申込先：〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学教育学部内 森 恭 気付

全日本フットサル選手権新潟県大会 大会事務局 宛

E-Mail：yamori.ed@niigata-u.ac.jp（できるだけメールでお問い合わせください）

FAX：025-262-7082 TEL：025-262-7082、090-3093-4710（緊急時のみ）

(3) 選手エントリー締切日：2026年12月10日（木）必着

7. 組み合わせ

(1) 準々決勝リーグでは「2. 参加チームとその数」のように第1～4シードを決定し、準決勝の組み合わせを考慮して、以下の通りのグループ分けとする。

Aリーグ：第1シード

Bリーグ：第4・5シード

Cリーグ：第3・6シード

Dリーグ：第2シード

(2) 準々決勝リーグ会場 12/13の会場は、シードチーム上位の所在地を考慮して代表者会議で決定する

(3) 予選ラウンドから勝ち上がるチームについては、入るリーグは事前に大会本部で決定し、リーグ内の試合順について代表者会議で決定する。

8. その他

(1) 準決勝および決勝のレフェリーは新潟県サッカー協会審判委員会より派遣される審判員が担当する。

(2) 第1項以外の試合にはチームの帯同審判員がレフェリーを担当し、割り当てられた試合のオフィシャル（タイムキーパー、記録員）、およびボールパーソンを担当すること。

(3) 試合はマルチボールシステムによって行う。

(4) その他の事項については、（一社）新潟県サッカー協会フットサル委員会にて決定する。

JFA 第 32 回全日本フットサル選手権大会新潟県大会

◎ 大会参加にあたっての手続きについて

手続きは予選ラウンドから参加のチームと、決勝ラウンドから参加のチームでは異なります
以下を参考にしてください。また、必ず大会要項で確認してください

	<u>予選ラウンドから参加のチーム</u>	<u>決勝ラウンドから参加のチーム</u>
月 日		
10月21日までに	参加申し込み	参加申し込み
11月3日	代表者会議	代表者会議
11月6日までに	予選ラウンド参加費送金	
11月6日までに	予選ラウンド選手役員エントリー	
11月22日	予選ラウンド1日目	
11月29日	予選ラウンド2日目	
12月6日	予選ラウンド3日目	
12月10日までに	決勝ラウンド（勝上りチームのみ） 選手役員エントリー・参加費送金	決勝ラウンド 選手役員エントリー・参加費送金
12月13日	準々決勝リーグ	
12月27日	準決勝・決勝	
27/0123-24	北信越大会 福井市体育館	
27/0213、14	全日本大会1・2回戦 日環アリーナ栃木（栃木県）、 グリーンアリーナ神戸（兵庫県）、SAGA プラザ（佐賀県）、北里アリーナ富士（静岡県）	
27/0220、21、22	全日本大会準々決勝～決勝 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館（予定）（東京都）	